

2023年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2022年4月1日～2022年9月30日



mandom

株式会社マンドム
(証券コード 4917)



目次

1. 2023年3月期 第2四半期決算
 2. 2023年3月期 第2四半期取組事項
 3. 2023年3月期 業績予想
- ◆ 参考資料

2023年3月期 第2四半期 決算サマリー

・売上高

連結では11.4%の増収 日本は6.0%の増収

国内外ともに社会経済活動は回復基調で、海外は2ケタ増収。
日本では夏シーズン品が貢献し前期は上回るものの、21/3月期
レベルには届いていない

・利益

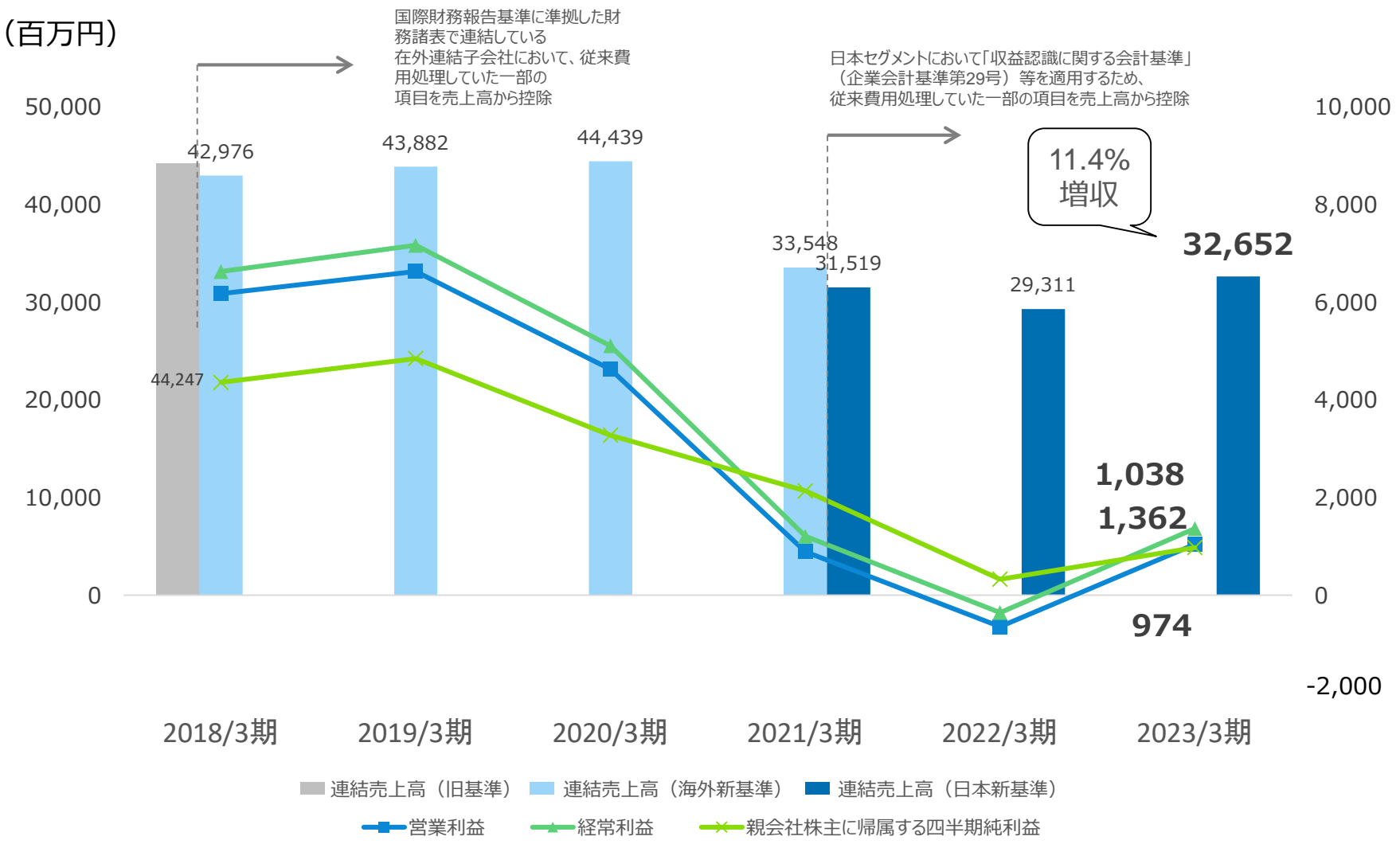
営業利益、経常利益が黒字転換

増収効果で売上総利益が大きく拡大。販売費の減少もあり
上期計画を超える10億円の営業利益

1. 2023年3月期 第2四半期決算



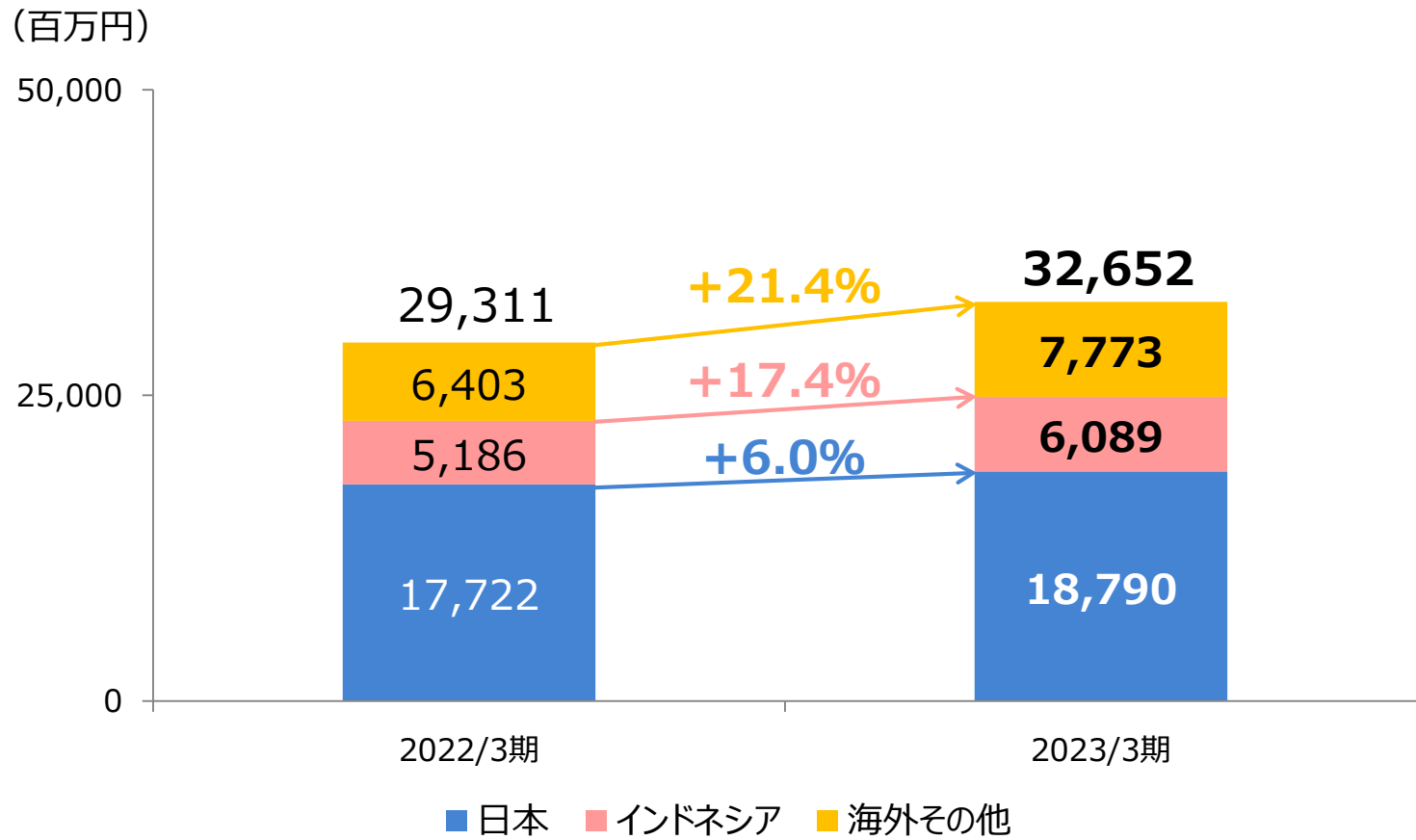
1)各所在地とも増収で連結売上高は11.4%の増収 営業利益も黒字化





1)各所在地とも増収 海外は着実な回復基調

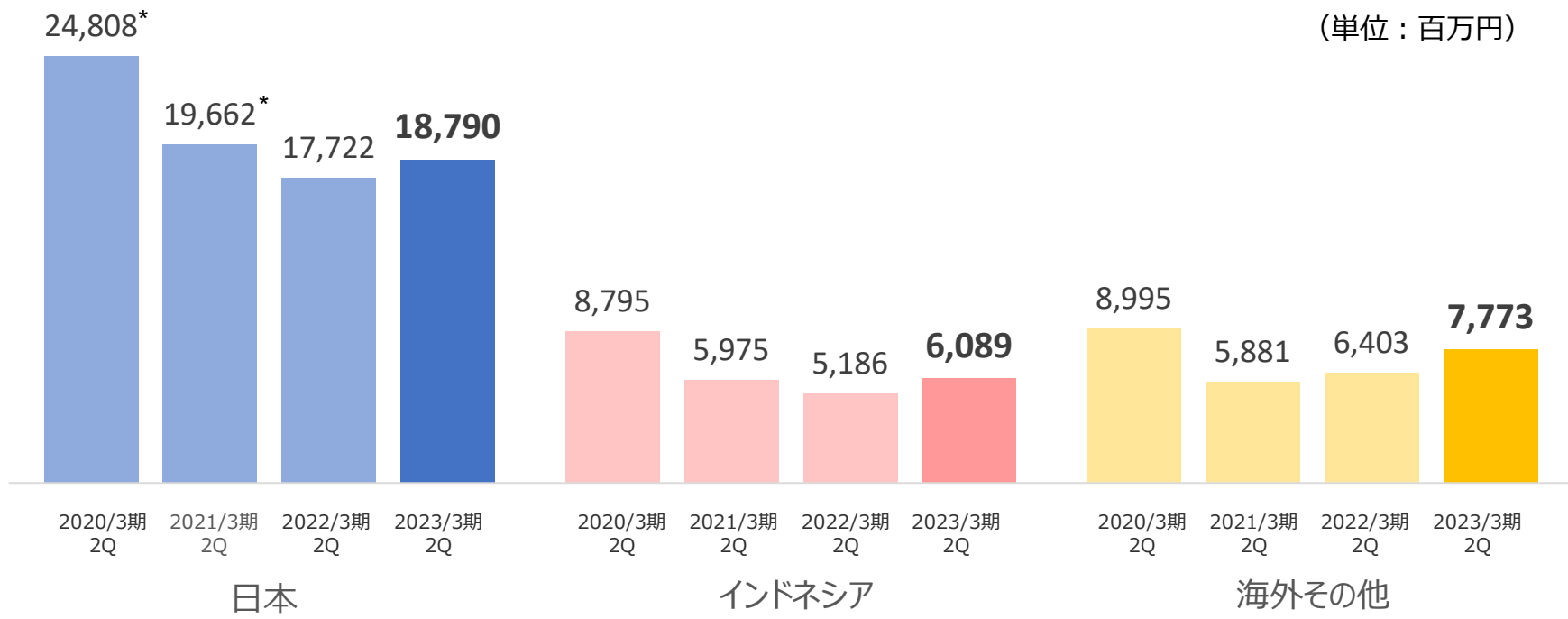
・日本は夏シーズン品の売上拡大があったものの、全般的に回復スピードが緩やか





1)各所在地とも前期を底として回復基調だが、コロナ前水準にはいまだ届かず
インドネシア、海外その他は21/3月期を上回る

・海外その他は東南アジア各国が好調で前期より13億円強の増収

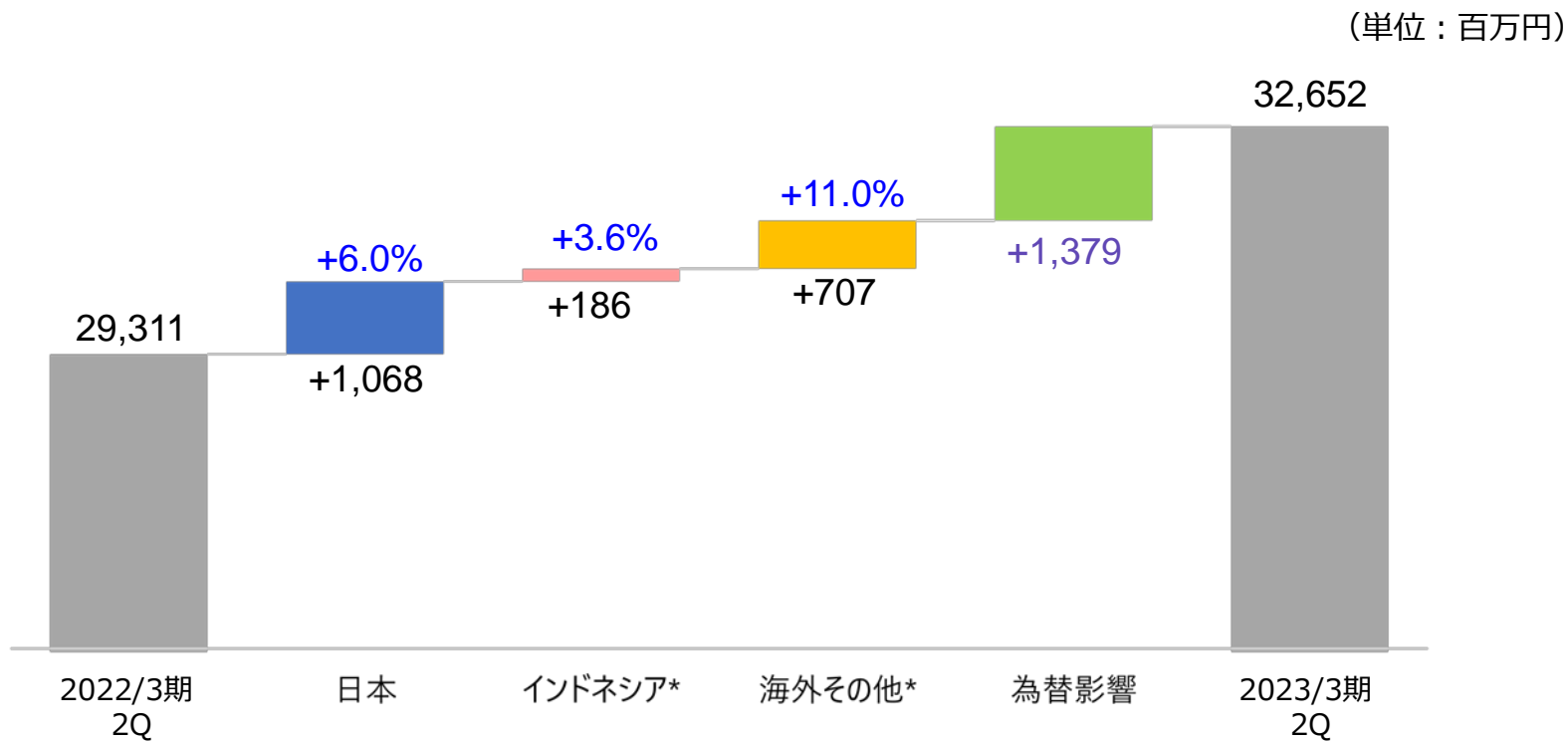


* 日本セグメントの2020/3期および2021/3期は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）換算値

1. 2023年3月期 第2四半期決算 <連結売上高>



1)各所在地とも増収ではあるが、為替による連結売上高へのプラス影響が大きい

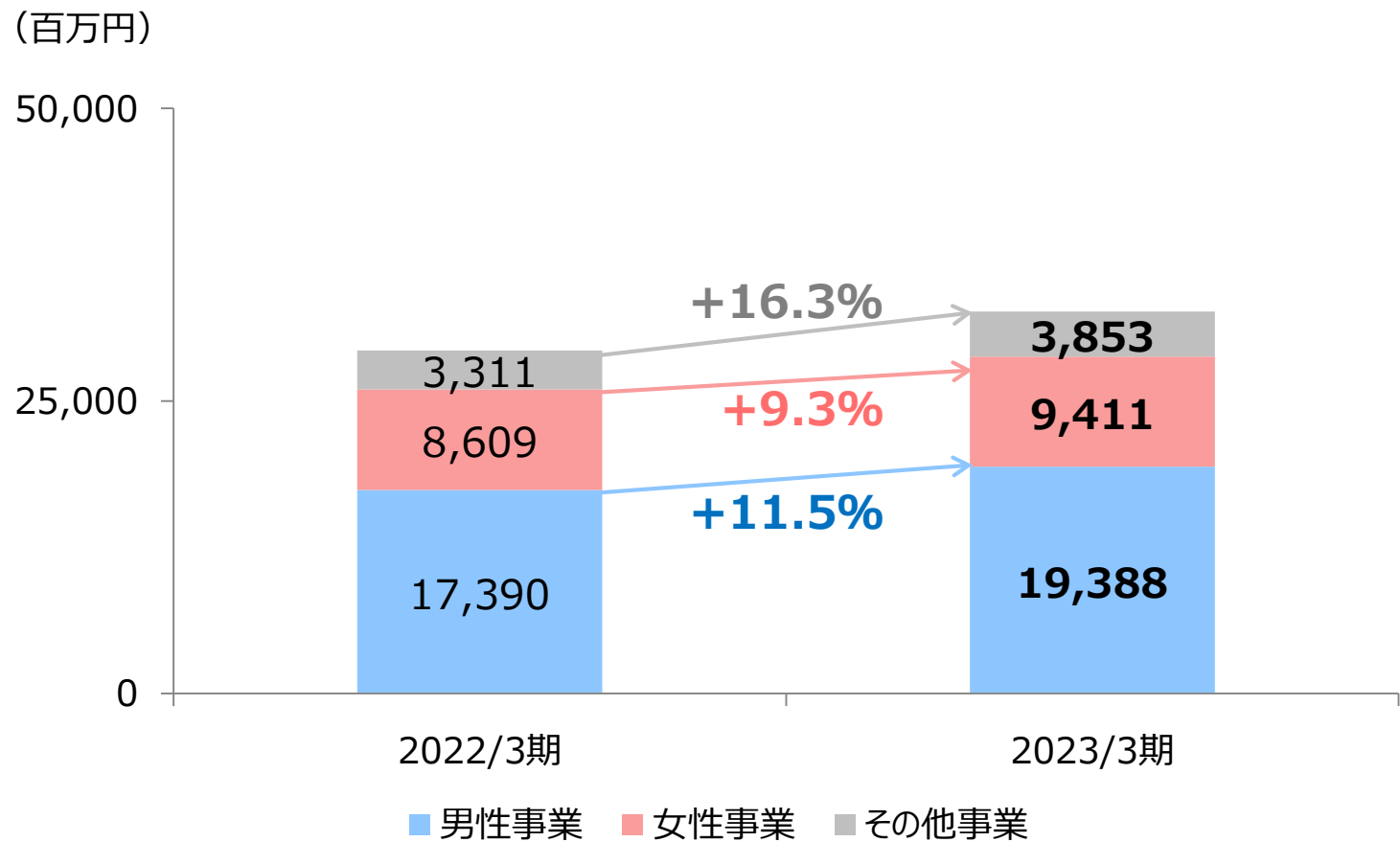


* インドネシア及び海外その他セグメントは前期レート換算値



1)日本の夏シーズン品の売上増加と、国内外ともコロナ禍からの回復が見られた

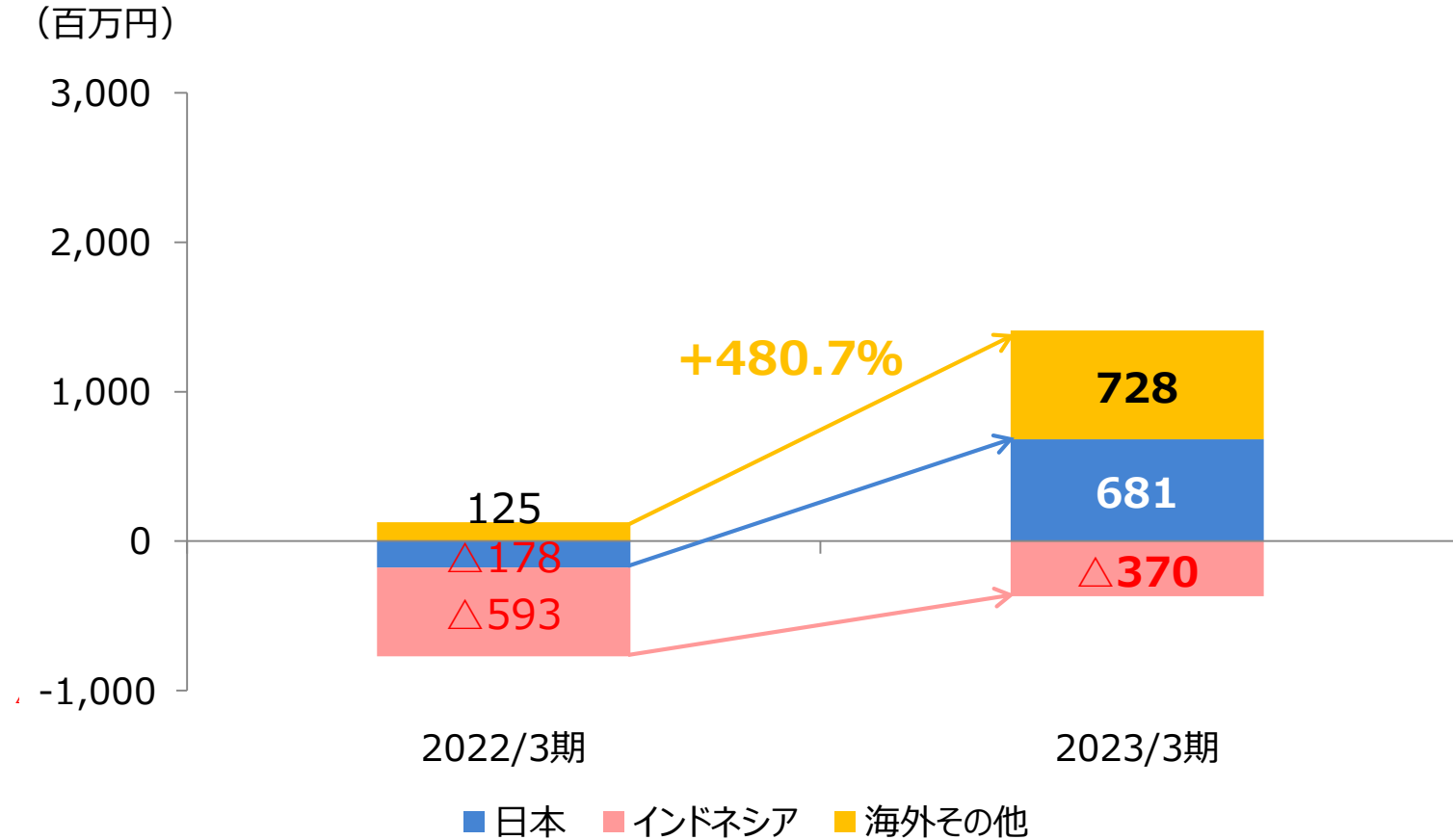
- ・日本では夏シーズン品（フェイス、ボディケア）以外にも、スタイリング剤、クレンジングも増収。
海外においてはスタイリング剤、メイクが増収。





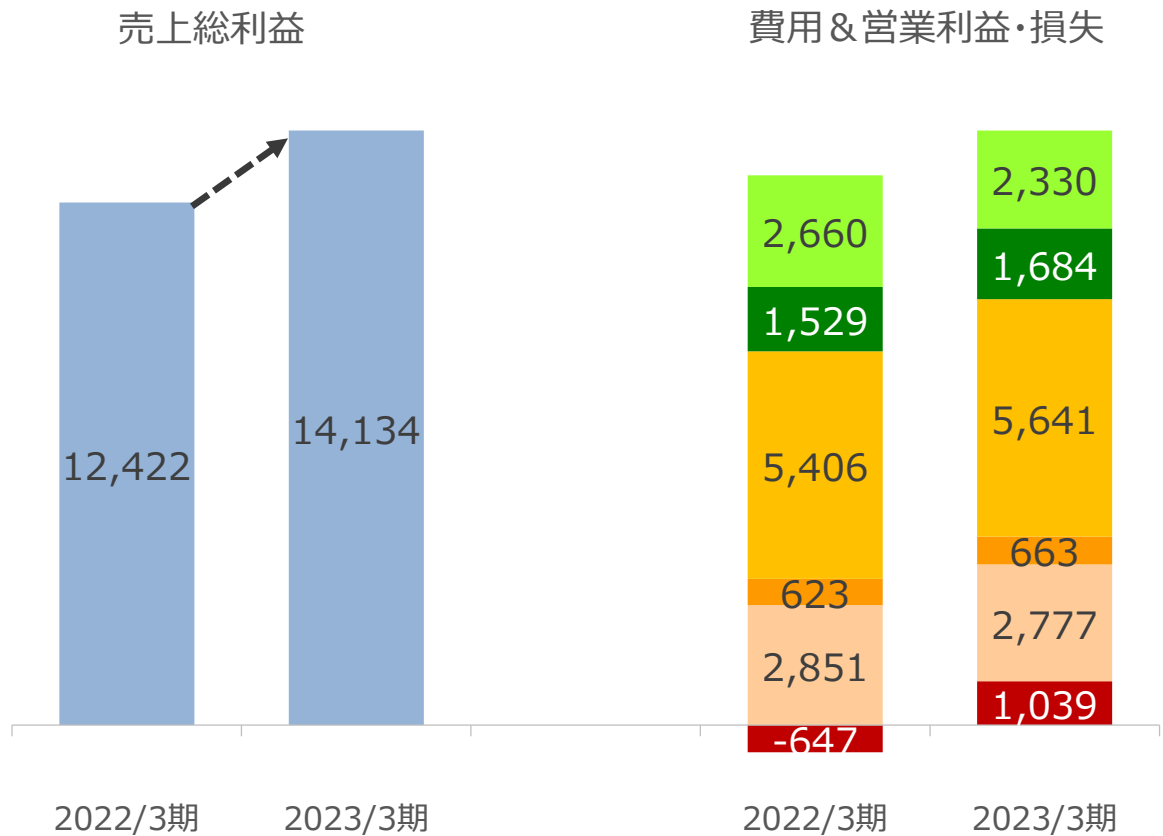
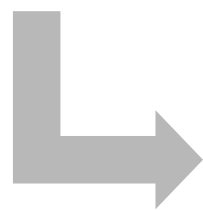
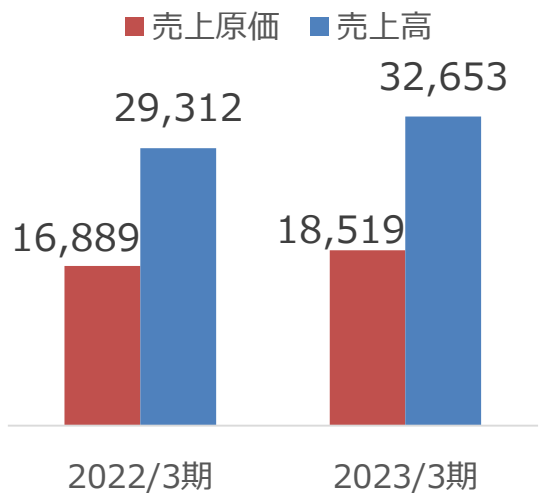
2) 増収により日本が黒字転換 海外その他は大幅増益

・インドネシアも増収により2億円挽回したものの、3億7千万円の営業損失にとどまる





3) 増収によって原材料高騰も吸収、売上総利益が17億円拡大 ・A&P費用3億円強減少し、10億円の営業利益に



- 営業利益
- その他の一般管理費
- 研究開発費
- 人件費
- その他の販売費
- A&P費

ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・ギャツビーは6月下旬の猛暑が貢献し、夏シーズン品が売上拡大 ヘアスタイリング剤も伸長
- ・ルシードエルは秋冬新製品配荷が貢献し、増収に転換

主要ブランドの状況

男性事業	女性事業
 	 
 	 



男性事業

売上高事業別構成比

GATSBY



男性フェイス、ボディ ペーパー製品 (夏シーズン品)

・市場動向

フェイス、ボディとも前年より伸長 ⇒ 6月下旬の猛暑 7月、8月も例年並み

・当社対応策

外出機会も増加

- 店頭売価 柔軟な価格戦略に転換
- 店頭展開 最盛期のプロモーション展開数を拡大



フェイシャルペーパー、市場平均を下回り、シェア微減
 ボディペーパー、市場平均を上回り、シェア大きく変化なし





女性事業

LUCIDO-L

ヘアトリートメントカテゴリー

・市場動向

ヘアオイル市場が前期比+16.6%と成長継続

・当社製品状況

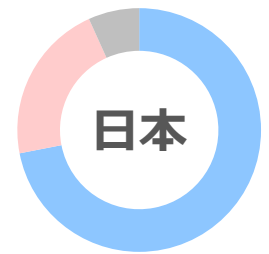
新規参入製品の影響を受け、既存の売上減少

・当社対応策

8月に新ヘアケア「質感再整シリーズ」を発売

小売業様からの評価は高く、計画以上の搬入達成

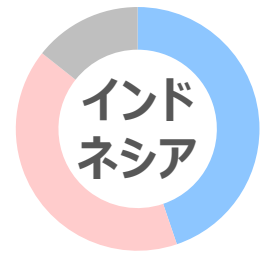
売上高事業別構成比



■ルシードエル 質感再整シリーズ




ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



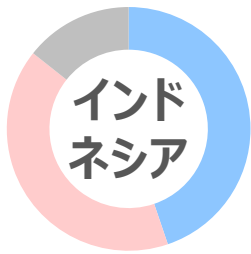
- ・ギャツビーは主力のスタイリング剤が回復
- ・ピクシーも人流回復と新製品配荷により伸長

主要ブランドの状況 (連結ベース)

男性事業	女性事業
<p>GATSBY </p>	<p>PIXY My Beauty, My Energy </p>
	<p>PUCELLE </p>



売上高事業別構成比



- ・10年ぶりに全面リニューアルした主力商品“PIXY Perfect Fit TWO WAY CAKE”に対し積極的なプロモーションを実施。

■ PIXY Perfect Fit TWO WAY CAKE

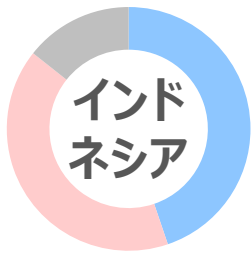


- ・高価格帯ライン“MAKE IT GLOW”より新製品を相次いで発売

■ PIXY MAKE IT GLOW



売上高事業別構成比



下期に積極的に新製品を投入

- ・男性用「GATSBY」、女性用「LOVILLEA」より、インドネシアで生活者から人気の高いビン容器のフレグランスを提案



■ GATSBY eau de BLUE

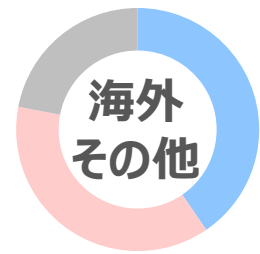


■ LOVILLEA eau de parfum

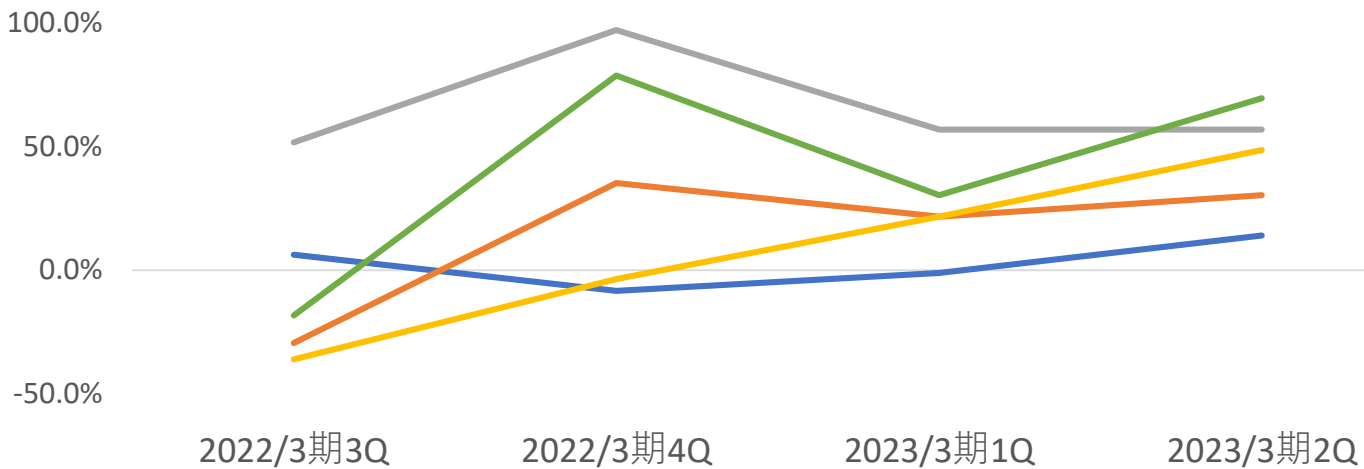


海外その他 国別 四半期別トレンド

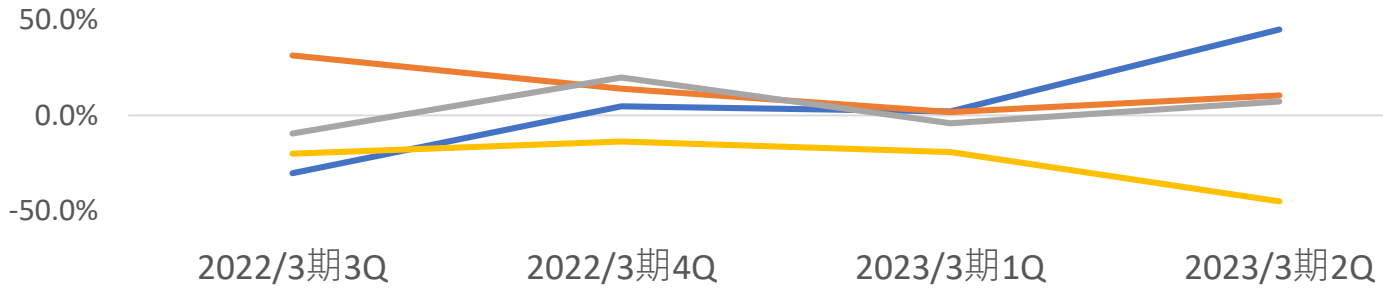
売上高事業別構成比



・東南アジア



・東アジア

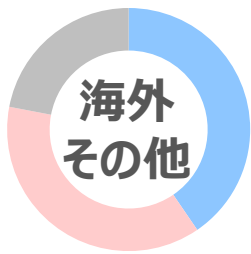




女性事業

売上高事業別構成比

SILKYGIRL



- ・コロナの収束に伴い、売上が急回復し大幅伸長
- ・マスク着用時のアイメイクプロモーションとデジタル強化が功奏



2. 2023年3月期 第2四半期取組事項

2. 2023年3月期 第2四半期取組事項

1. ヤング男性スキンケア分野の強化

- ・「コンディショニングオールインワンシリーズ」をリニューアル発売。
新CMなどの積極的なプロモーションを展開。
- ・話題の「シカ成分」を配合した「ディープメディシリーズ」に2品追加し
ラインナップを強化。



■ ギャツビー コンディショニングオールインワンシリーズ



■ ギャツビー ディープメディシリーズ

2.「ギャツビー ザ デザイナー」によるメンズ化粧品市場の活性化

- ・ベストコスメなどのコスメアワードを受賞。
- ・大手百貨店におけるメンズコスメティックイベントで数量売上NO.1ブランドに。
イベントはメディアで多数報道されるなど、メンズメイクへの関心が高まる。



- ・10月より大手ECサイトでの展開を開始。
海外グループ会社でも順次展開を開始。
同月、新製品「ヘアバーム」を追加。



■ ギャツビー ザ デザイナー ヘアバーム

3. 韓国と中国において独自提案のメイクアップ°製品発売

- ・韓国において、「ギャツビー メイクアップシリーズ」をEC流通限定で発売。



■ GATSBY MAKE UP Series

3. 韓国と中国において独自提案のメイクアップ°製品発売

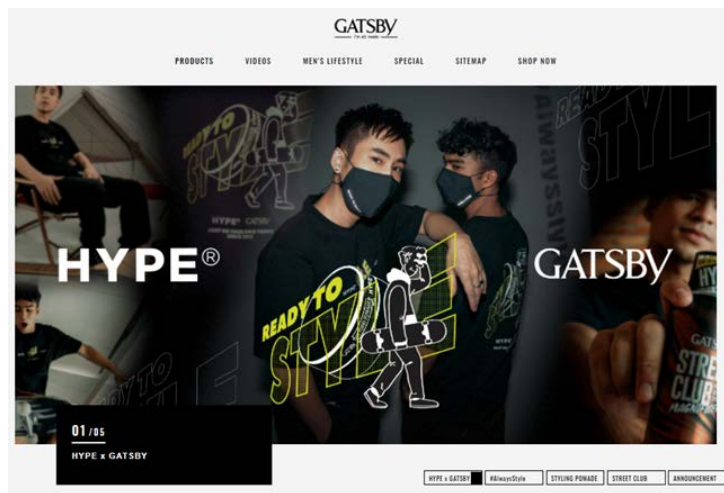
- ・中国において、ACG（アニメ・コミック・ゲーム）市場の拡大に連動して増加するコスプレイヤー向けにコスメシリーズ「ANIMAGUS」をECにて発売。



■ コスプレイヤー向けコスメシリーズ「ANIMAGUS」

4. マレーシアにおけるGATSBYのファンベース獲得のための取り組み

- ・マレーシアの人気アパレルブランドとコラボレーションし、プロモーションを展開。
- ・マレーシアのe-スポーツ大会へのスポンサーシップにより、ブランドイメージと認知向上を図る。



■ 人気アパレルブランドとのコラボ



■ e-スポーツ大会への協賛

3. 2023年3月期 業績予想

3. 2023年3月期 業績予想

2023年3月期 連結業績見通し

(単位：百万円)

	上期実績			下期見通				通期	
	実績	計画	乖離額	見通	前期実績	増減額	前期比	計画	対前期実績
売上高	32,652	32,000	652	32,347	28,050	4,296	115.3%	65,000	113.3%
営業利益	1,038	800	238	▲38	▲1,662	1,623	—	1,000	—
経常利益	1,362	1,000	362	▲12	▲1,497	1,485	—	1,350	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	974	680	294	▲224	▲948	724	—	750	—

3. 2023年3月期 業績予想

2023年3月期 連結売上高見通し

- ・日本、アジア各国ともコロナ影響からは社会経済活動は回復トレンド
- ・日本は物価高への警戒もあり、需要回復スピードは遅め
- ・中国は年内回復が不透明

【売上高 見通し与件】

- +) ・国内外における積極的な新製品の投下
- +) ・国内で「ギャツビー」「ルシード」スキンケア強化により、フェイスクアカテゴリ拡大
- +) ・東南アジアでの「ギャツビー」「ピクシー」の売上拡大
-) ・中国のコロナ影響からの社会経済活動の回復は不透明
- +) ・為替(円安)影響による連結売上高の円換算額増

2023年3月期 連結営業利益見通し

【営業利益 見通し与件】

- +） ・国内外での売上高増加による増収効果
- ） ・国内外での期首予想を超える原材料の高騰
- +） ・為替(円安)影響による連結営業利益の円換算額増

【リスク】

- ・日本での物価高騰影響による化粧品・日用品の需要低迷
- ・国内外で原材料価格、輸送費が想定以上に高騰

2023年3月期 第2四半期 決算説明会 参考資料

2022年4月1日~2022年9月30日

目次

1. 2023年3月期第2四半期 連結業績概要
 2. 連結売上高
 3. 連結段階利益
- ◆ 参考資料

1. 2023年3月期第2四半期 連結業績概要



(単位：百万円)

	第 2 四 半 期				
	2022/3期	2023/3期	増減額	同期比	前期レート 換算比
売上高	29,311	32,652	3,341	111.4%	106.7%
営業利益	-646	1,038	1,685	-	-
経常利益	-358	1,362	1,721	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	326	974	647	298.1%	-

EPS	7.28円	21.66円
-----	-------	--------

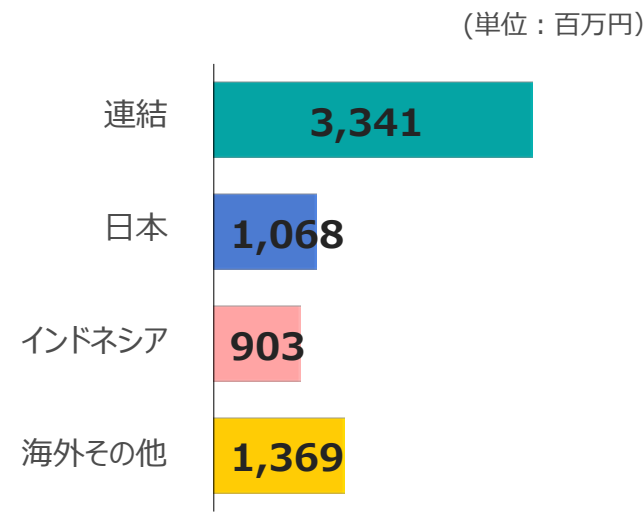
2. 連結売上高

2-1.所在地別売上高

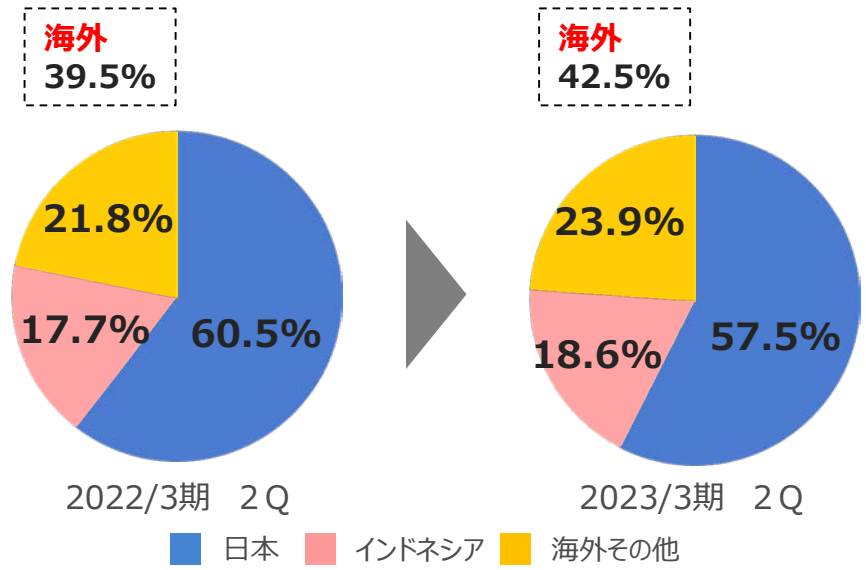
(単位：百万円)

	第 2 四 半 期			
	2022/3期	2023/3期	増減額	同期比
売上高	29,311	32,652	3,341	111.4%
日本	17,722	18,790	1,068	106.0%
インドネシア	5,186	6,089	903	117.4%
海外その他	6,403	7,773	1,369	121.4%

2-2.所在地別売上高 同期増減額内訳



2-3.所在地別売上高 同期構成比推移



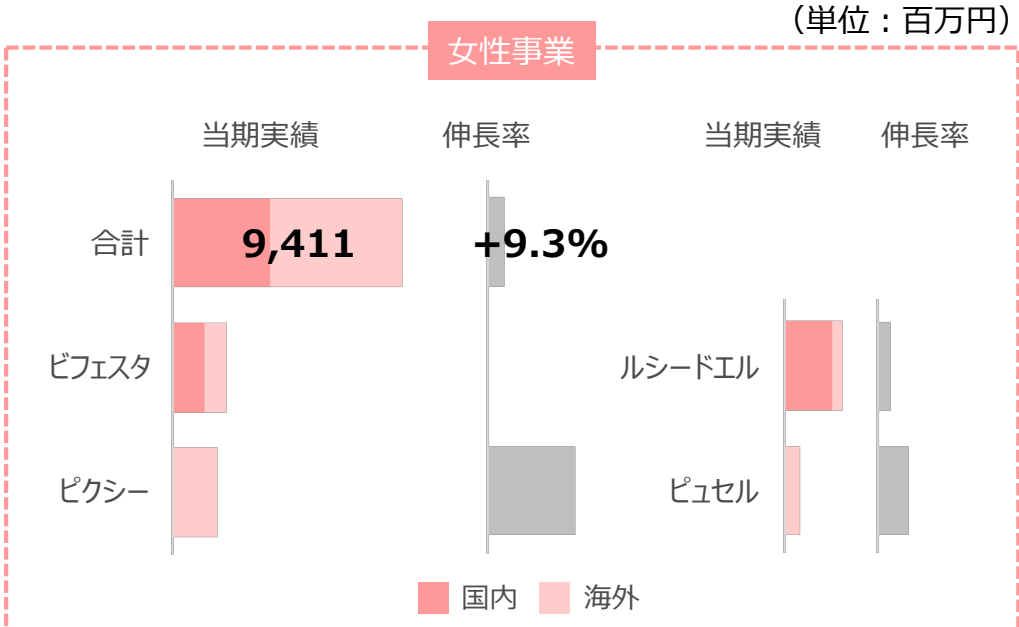
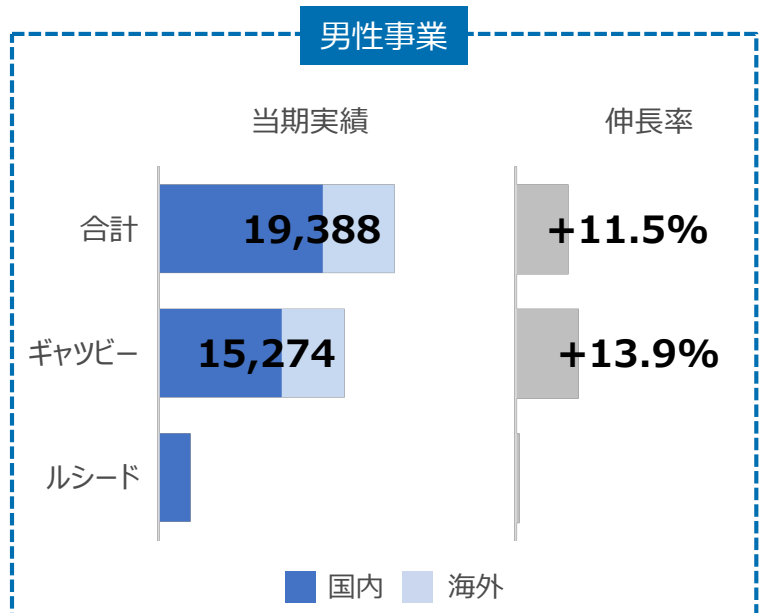
2. 連結売上高

2-4. 事業別売上高

(単位：百万円)

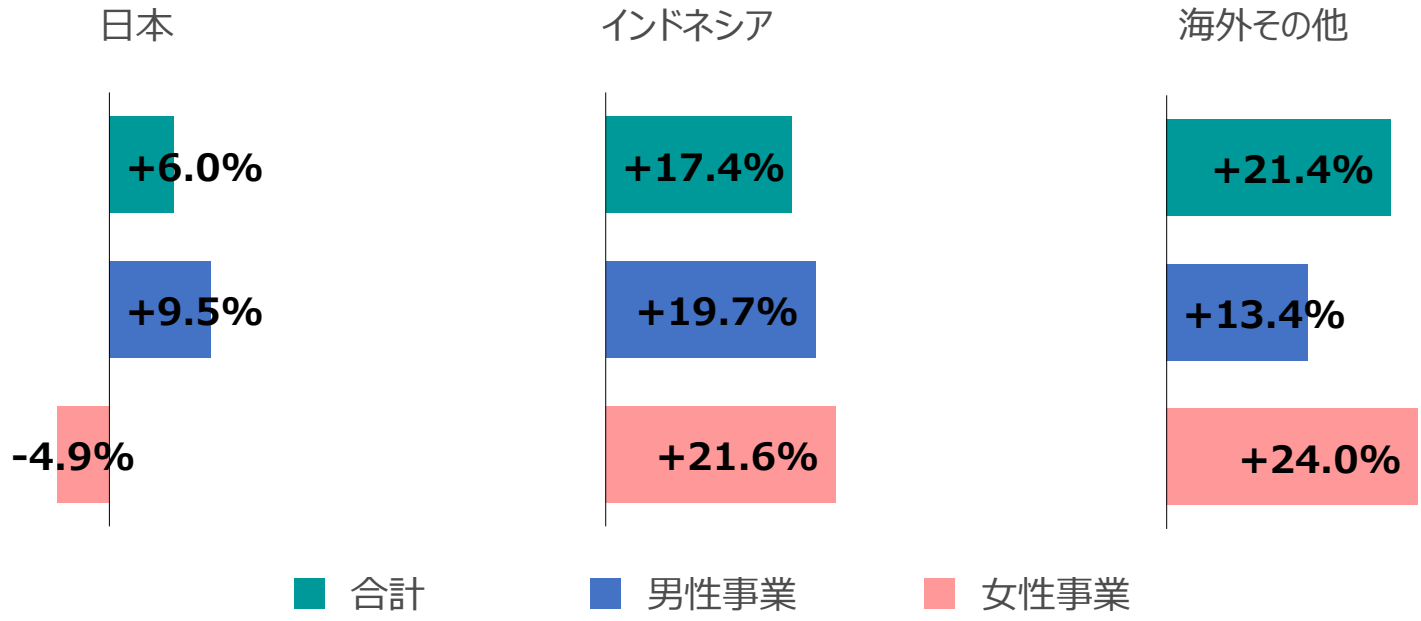
	第 2 四 半 期			
	2022/3期	2023/3期	増減額	同期比
売上高	29,311	32,652	3,341	111.4%
男性事業	17,390	19,388	1,997	111.5%
ギャツビー	13,411	15,274	1,862	113.9%
女性事業	8,609	9,411	802	109.3%
その他事業	3,311	3,853	541	116.3%

※女性事業内訳：女性コスメティック 5,516百万円（同期比124.1%）/女性コスメタリー 3,894百万円（同期比93.4%）



2. 連結売上高

2-5.所在地別事業別前年同期比



※ 女性事業内訳
 女性コスメティック +3.5%
 女性コスメタリー -8.7%
 ※ その他事業 +8.2%

※ 女性事業内訳
 女性コスメティック +49.5%
 女性コスメタリー -14.9%
 ※ その他事業 +1.5%

※ 女性事業内訳
 女性コスメティック +23.4%
 女性コスメタリー +26.9%
 ※ その他事業 +33.8%

3. 連結段階利益

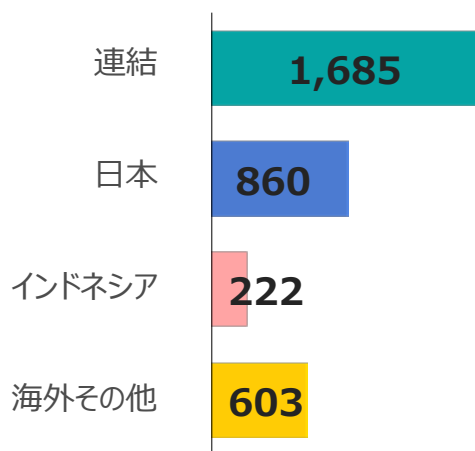
3-1. 所在地別営業利益

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	2022/3期		2023/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	-646	▲2.2%	1,038	3.2%	1,685	-
日本	-178	▲1.0%	681	3.6%	860	-
インドネシア	-593	▲11.4%	-370	▲6.1%	222	-
海外その他	125	2.0%	728	9.4%	603	580.7%

3-2. 所在地別営業利益 同期増減額内訳

(単位：百万円)



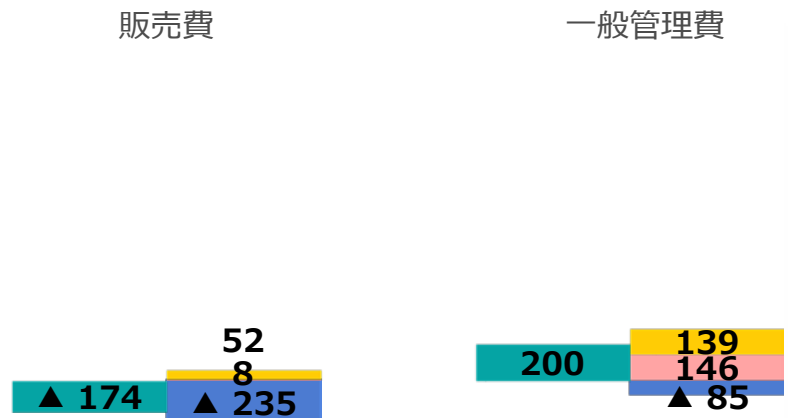
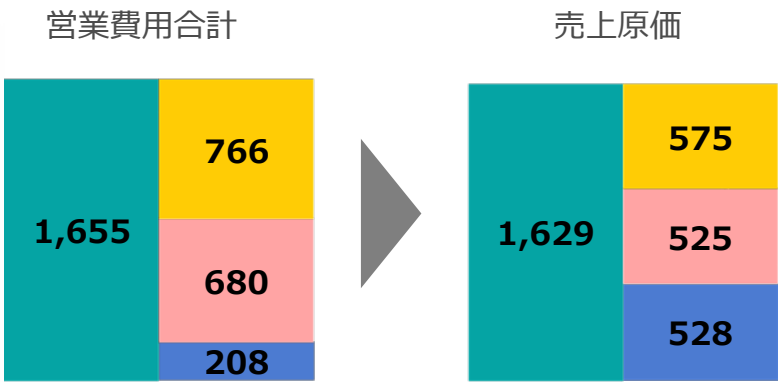
3-3. 所在地別営業利益 同期構成比推移

インドネシアが営業損失のため、
円グラフ未記載

3. 連結段階利益

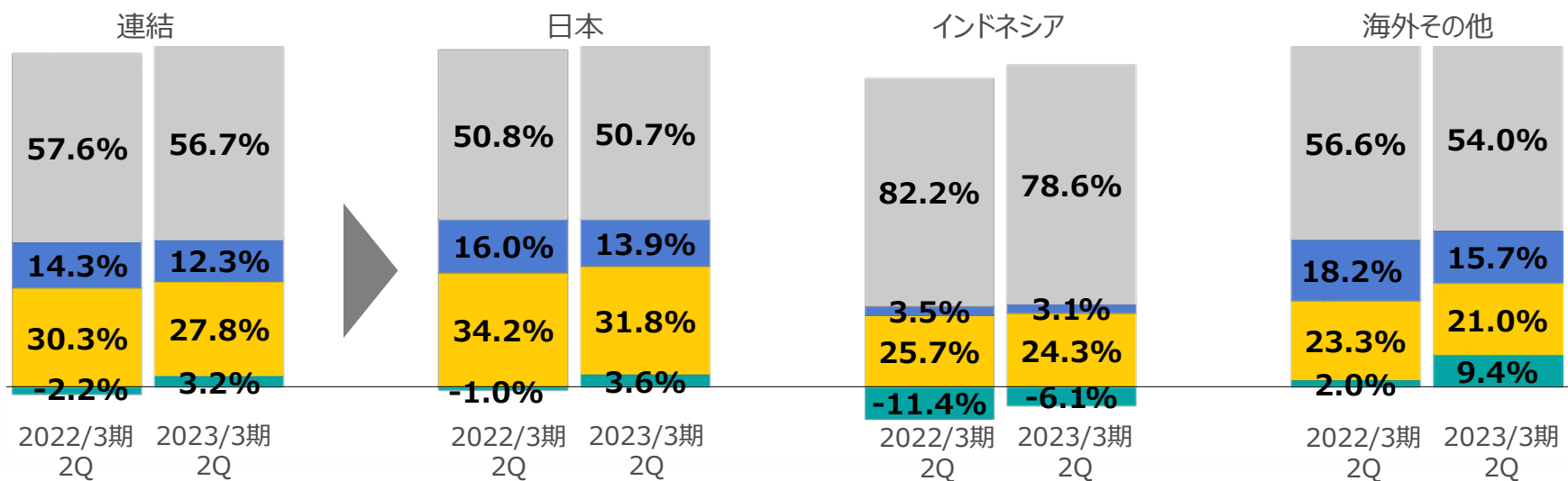
3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳

■ 連結 ■ 日本 ■ インドネシア ■ 海外その他 (単位: 百万円)



3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳

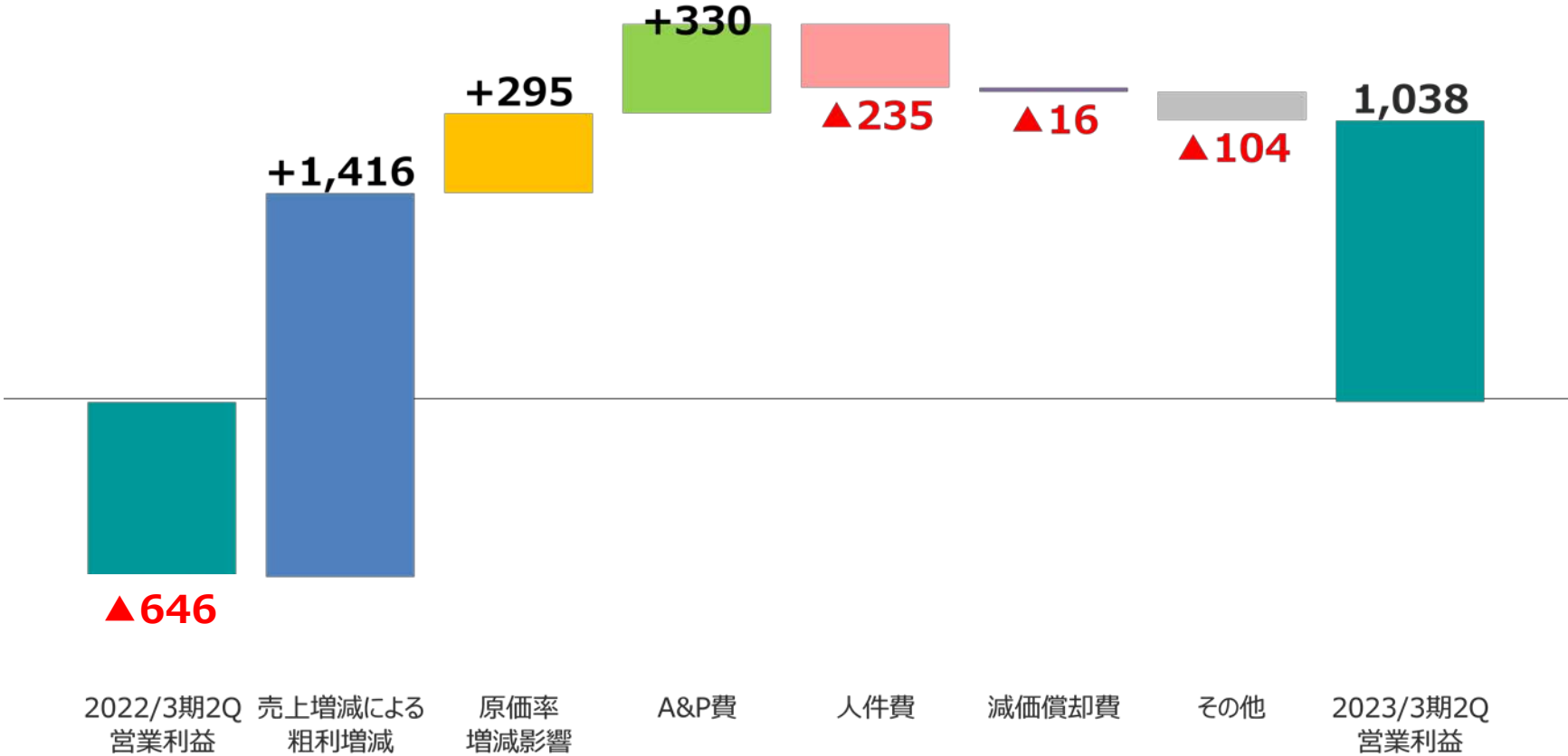
■ 売上原価 ■ 販売費 ■ 一般管理費 ■ 営業利益



3. 連結段階利益

3-6. 営業利益増減分析

(単位：百万円)



3. 連結段階利益

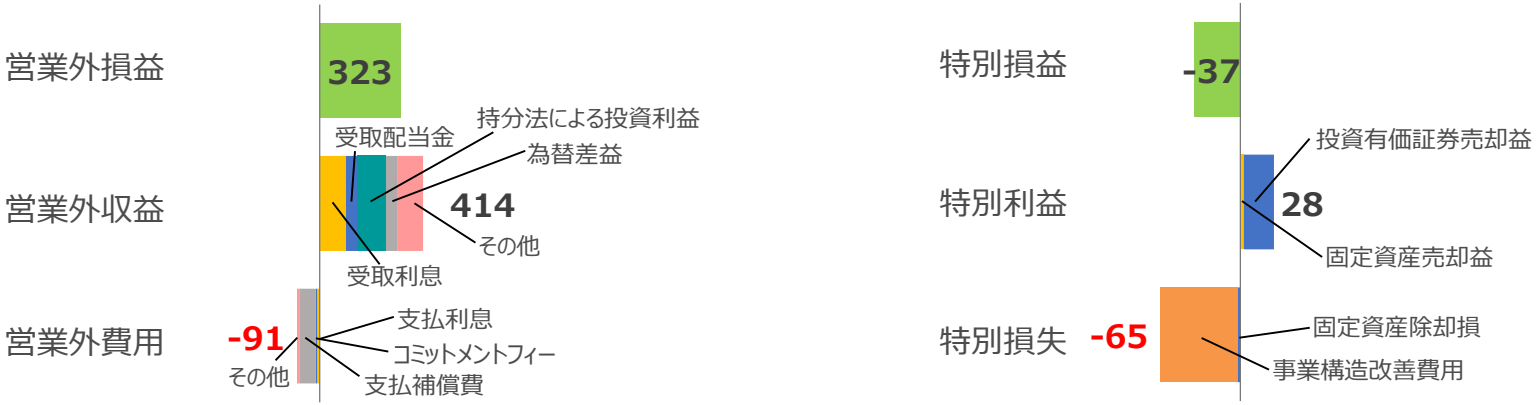
3-7. 経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	2022/3期		2023/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業外損益	287	1.0%	323	1.0%	35	112.3%
経常利益	-358	▲1.2%	1,362	4.2%	1,721	-
特別損益	905	3.1%	-37	▲0.1%	▲942	▲4.2%
税引前純利益	546	1.9%	1,324	4.1%	778	-
法人税等	316	1.1%	372	1.1%	55	117.6%
四半期純利益	229	0.8%	952	2.9%	722	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	-97	▲0.3%	-21	▲0.1%	75	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	1.1%	974	3.0%	647	-

3-8. 営業外損益・特別損益内訳

(単位：百万円)



2023年3月期第2四半期 Mandom単体及びPT Mandom Indonesia Tbk 損益計算書

株式会社マングム

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	増減額	同期比	2023/3期 業績予想
売上高	19,548	21,008	1,459	107.5%	39,000
売上原価	10,965	11,569	604	105.5%	-
原価率	56.1%	55.1%	-1.0P	-	-
販売費及び一般管理費	8,701	8,395	▲ 305	96.5%	-
営業利益	-117	1,043	1,160	-	-
営業外損益	1,383	193	▲ 1,190	14.0%	-
経常利益	1,266	1,236	▲ 29	97.7%	870
特別損益	904	-37	▲ 941	-	-
四半期純利益	1,818	861	▲ 956	47.4%	650

減価償却実施額・設備投資額

連結

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	増減額	2023/3期 予想
減価償却実施額	2,642	2,466	▲ 176	5,142
設備投資額	1,251	770	▲ 480	2,838

株式会社マングム(単体)

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	増減額
減価償却実施額	1,761	1,609	▲ 151
設備投資額	1,046	297	▲ 748

※設備投資額には無形固定資産を含む

PT Mandom Indonesia Tbk

現地通貨

(単位：百万Rp.)

	2022/3期	2023/3期	増減額	同期比
売上高	849,991	925,416	75,424	108.9%
売上原価	705,906	742,462	36,555	105.2%
原価率	83.0%	80.2%	-2.8P	-
営業利益	-61,694	-11,741	49,953	-
四半期純利益	-40,302	-6,412	33,889	-

円換算

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	増減額	同期比
売上高	6,374	7,866	1,491	123.4%
売上原価	5,294	6,310	1,016	119.2%
原価率	83.0%	80.2%	-2.8P	-
営業利益	-462	-99	362	-
四半期純利益	-302	-54	247	-

Rp.1 = ¥0.0075 Rp.1 = ¥0.0085

この資料に記載されている株式会社マンダム(以下、当社)の現在の計画、戦略、確信などのうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の仮定と確信に基づくものであります。これらの将来見通しの記述は、既に知られているリスク、知られていないリスクや不確かさ、その他の要因などを含み、当社の実際の経営成績、業績などはこの資料に記載した見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

※記載金額は単位未満を切り捨てております

**BE ANYTHING,
BE EVERYTHING.**



mandom